

令和3年度 第4回太田地域協議会会議録

令和3年12月23日

太田地域協議会

令和3年度 第4回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	5
■報告	5
(1) 令和3年度地域枠予算活用事業について	
(2) 地域拠点利活用活性化事業プレゼンテーション結果について	
■協議	11
(1) 「太田地域を語る市民の集い」開催結果に対する委員意見について	
(2) 地域の課題について	
■その他	16
■閉会	22
■署名	23

令和3年度 第4回太田地域協議会 会議録

■日 時：令和3年12月23日 午前9時57分

■会 場：大仙市太田支所 2階会議室

■出席委員： 6名

小 松 江里子、 水 谷 仁 光、 倉 田 吹紀子、 藤 本 重 政、
佐 藤 隆 康、 伊 藤 和 子

■欠席委員： 6名

鈴 木 賢 一、 安 達 京 子、 長 澤 宏 明、 熊 谷 隆 雄、
高 橋 英 子、 佐々木 玲 子

■出席職員： 8名

野中 正幸（支所長）	藤澤 寿史（市民サービス課長）
黒澤 伸朗（農林建設課長）	田中 勲男（中仙・太田建設水道事務所長）
草薨 晶子（公民館長）	小林 崇元（東部新規就農者研修施設副主幹）
高橋 正人（地域活性化推進室主幹）	板谷 予理子（地域活性化推進室主任）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 報 告
 - (1) 令和3年度地域枠予算活用事業について
 - (2) 地域拠点利活用活性化事業プレゼンテーション結果について
- 6 協 議
 - (1) 「太田地域を語る市民の集い」開催結果に対する委員意見について
 - (2) 地域の課題について
- 7 その他
- 8 閉 会

(午前9時57分 開会)

○野中支所長（以下「支所長」と表記）

おはようございます。定刻より若干早いですが、地域協議会を始めさせていただきたいと思っております。会議を始めます前に、本日は定数の半数以上の委員が出席しておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

なお、会議録作成のため、発言の際はマイクをご使用いただきますようお願いいたします。

それでは会議の進行を、規定によりまして会長をお願いいたします。

○水谷仁光会長（以下「会長」と表記）

皆さんおはようございます。最近、天気の方も急に寒くなりまして、雪も今年の今頃は私の記憶では1回ドカッと来たんですよ。今頃は家のところでだいたい50センチくらいあるって書いてます。だいたい16日あたりから毎日自宅の前の除雪しなければ駄目でした。ですから、今年は幾分楽なのかなというふうに思います。自分の家のことで恐縮なのですが、池の鯉が冬眠していかないんですよ。ということは、真木山で雪降ったんだけどまだ水が温かいんですよ。そういう状況です。

それにもまして今、新たなオミクロン株が発生いたしまして、よくわからないんですけども、ほっとしていたところでまた来たっていう感じしますね。何よりも強力な感染力ということで、各自今までどおりの感染対策をやらないと、どこで発生してもおかしくないとか、もらってもおかしくない、人にうつしてもおかしくないということです。なんとかこのままずっと行ってこれればいいんだけど、正月明けの人の流れの増加を何とかうまく乗り切ってくればいいなというふうに思います。

それでは令和3年度第4回太田地域協議会を開催いたします。開会にあたりまして、野中支所長からご挨拶をお願いいたします。

○支所長

改めましておはようございます。今日は本当に師走のお忙しいところ、地域協議会にご出席いただきましてありがとうございます。

先ほど会長の方からのご挨拶にありまして、いつも話題というとなり新型コロナウィルスの関係からということになりますけれども、さっきお話があったそのオミクロン株、ついに昨日のニュースでは大阪の方で市中感染らしい事例が発見されたということで、本当に今後どうなるのか、若干不安でございます。せつかく年末年始は少し明るいお話ができるのかなと思ったらこういう状況でございます。水際対策をどんなにやっても、今のこのグローバルの時代ですから、グローバルでなかった昔の時代でもスペイン風邪やインフルエンザはどこからでも入ってくるものですので、止めることはできませんが、我々としてはやはり会長が言ったとおり、できる感染対策を実施しながら、嵐が過ぎると言います

か、そういうことしかできないのかなとは思いますが、まずもって本当に3回目の接種が待たれるなど思うところです。

市の方針といたしましては、8か月経過後ということで、来年の2月には3回目の接種が始まるだろうという話はできておりますけれども、残念ながらワクチンの量は、昨日のテレビでもモデルナとファイザーは何百万回分も国の方で出したというようなことを言っていました、まだ何百万回分なので1億まではいきませんが、それだけの人数に届くまでにはもう少しかかるだろうと思われる。いずれ2月以降に65歳以上の方から順次進んでいくと思いますので、その際には皆さん副作用などということであんまり心配なさらずに安心して注射できればいいなと思っております。

それでは、前回の地域協議会以降の動きについていろいろとお話をさせていただきたいと思えます。1点目として、太田分校レストランが今年10月26日と11月30日の2回開店いたしました。昨年度までは地域活性化推進室の「地域の魅力再発見事業」により実施されておりましたが、今年度からは、推進室の職員が仲立ちし、中里温泉と太田分校の協働事業として実施されました。今回も弁当方式で行いましたが、それぞれ60食以上を完売し、地域の皆さんから好評を博したところでございます。

2点目として、前回の地域協議会でお知らせしました、来年度の新規事業である「地域拠点利活用活性化事業」の市長プレゼンが行われました。太田支所は横沢公園を活用した施設のリニューアルとイベントの開催を主とした事業としましたが、他地域では道の駅のある中仙・神岡は道の駅リニューアル、協和は和ピア、西仙北は大綱交流館、南外はさいかい市周辺エリア、仙北はふれあい文化センター周辺エリア、大曲ははなび・アムをそれぞれ選択してプレゼンいたしました。それぞれ特色のある施設ですので、来年度以降どのような具体性をもって事業化するのか楽しみでございます。横沢公園については、太田と中仙の2地域の拠点公園として今後力を入れてもらえるようですので、地域活性化推進室としては、花の生育状況の確認や新たなイベントの開催について検討していきたいと思えます。

3点目として、11月17日と18日に「太田地域を語る市民の集い」を開催しました。平成26年度以来の開催となった座談会ですが、参加者は3会場で実施して20人と、ちょっとさみしい結果でしたが、それでもさまざまな意見や質問があり、大変有意義だったと思えます。今日の皆さんの資料に当日の資料と質疑応答の内容を入れておりますので、後ほどご説明と委員の皆さんからもご意見をいただきたいと思えます。私としては、地域住民から出てきた意見・要望を地域協議会で議論・検討し、市長へ意見・要望として取りまとめて書面で提出するのがいいんじゃないかと考えておりますので、よろしくお取り計らい願います。

4点目として、12月12日に太田文化プラザの内部改修説明会を開催しました。太田文化プラザは令和元年度から屋根防水、外壁塗装、空調工事を行ってきており、来年度は内部改修を行う予定です。内部改修を行うにあたり、利用者団体や公民館運営審議委員、自治組織の代表などに声掛けし、内部改修方針について説明いたしました。この議論の肝はエレベーター設置の是非でございます。後ほど本日提出しました資料によりまして公民

館長から説明がございますので、皆様からもご意見をいただきたいと思います。

5点目として、太田の火まつりの開催についてご報告いたします。12月1日と昨日実行委員会が開催され、来年は開催する方向で話がまとまっております。ただ、人が密集してしまう恐れのあるプログラムは少し縮小して実施することにはしていますが、感染対策に気を付けながら実施したいと考えています。日程は来年2月5日第一土曜日を予定しています。

6点目として、12月17日を提出期限に、2回目の小学校統合に関する保護者アンケートが実施されました。結果についてはまだ出てきておりませんが、以前にもお話ししましたが、学校統合については8割弱の保護者が賛成しており、そのほとんどは3校を1校にというものでございます。今回のアンケート結果によっては、統合の動きが加速するかもしれません。ただ、統合するにしても、校舎をどうするのか、スクールバスは必要なのか、また、人口減少の加速で統合してもすぐに次の統合の話が出ないとも限りませんので、ただの人数合わせではない、学校への思いや子どもの教育に対する考え方が重要ではないかと思えます。いずれ結果が出ましたら皆様にお伝えしたいと思えます。

最後に12月議会で決まったことを3点報告させていただきます。1点目が、子育て世帯への臨時特別給付金についてでございます。報道のとおり国の方針が二転三転したため市も振り回されましたが、結果的に18歳までの子に10万円を現金で支給することに決定しました。中学生までの児童手当対象者、または中学生までの兄弟がいる高校生をお持ちの世帯には、12月24日に口座に支給する予定となっております。高校生のみの世帯や住民税非課税世帯、新型コロナにより家計が急変した世帯については、1月から申請を受け付けて給付を決定してまいります。

2点目、原油価格高騰対策生活支援事業についてです。これは平成19年度と25年度にも実施していますが、住民税非課税世帯の内、70歳以上のみの世帯や、障害者手帳をお持ちの方、児童扶養手当をもらっている母子世帯などに対し、申請により1世帯当たり6千円を支給します。灯油代が高くなっているということから始まったものでございます。これも申請は1月からとなります。

3点目、主食用米次期作支援事業についてです。これも報道されていますが、経営所得安定対策に参画し、JAや集荷業者に出荷しているコメ栽培農家が、来年度も意欲的にコメを作付けできるよう、10アール当たり3千円を給付いたします。太田地域では27日に一括で申請を受け付け、給付は年明け後となります。以上、12月議会で決まった事業についてお伝えしました。

さて、今年は少し忘新年会のお誘いも増えてまいりました。2年ほど外での会食が無かったので、お酒も早く回るような気がいたします。そんなところへ仙北市や大館市職員の飲酒運転による検挙の報道がありました。今一度原点に立ち返り、飲んだら乗るな、飲んでも飲まれるな、感染防止のために短時間と、我々も自戒の意味を込め、明るい年末年始を迎えたいと思えます。本日も盛りだくさんですが、なにとぞよろしく願います。以上でございます。

○会長

はい、ありがとうございました。

次に、次第4の会議録の署名委員を指名させていただきたいと思います。会議録署名委員は、今回は藤本重政委員、伊藤和子委員からお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

次に、次第5の報告に入ります。(1)「令和3年度地域枠予算の活用事業について」、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【令和3年度地域枠予算活用事業について、配布資料に基づき説明】

・実施類型【①行政主導型】

1 鈴木空如パンフレット増刷事業

事業目的：令和2年度に発行したパンフレットの残部数が無くなったことから、増刷し希望者に配布することを目的とする。

申請団体：太田公民館

申請額：242,000円

2 北野公園環境整備事業

事業目的：太田東小学校の東側にある北野公園内のアカシアの枝が、街灯のソーラーパネルに落下し損傷を与える恐れがあることから、整枝して被害を防止することを目的とする。

申請団体：農林建設課

申請額：73,700円

3 太田庁舎構内整備事業

事業目的：太田庁舎敷地駐車場のコンクリート側溝及びグレーチングが壊れていたため、通行した車両に損傷を与えたことから、修繕のうえ再発防止を図ることを目的とする。

申請団体：市民サービス課

申請額：114,510円

4 グラウンド・ゴルフ場遊具修繕事業

事業目的：太田ふれあいの里のグラウンド・ゴルフ場にある遊具は老朽化し使用できない状態にあるが、応急的な修繕により再度使用できる状態にすることを目的とする。

申請団体：市民サービス課

申請額：77,000円

・実施類型【②市民協働型】

5 北部墓園保全事業

事業目的：太田北部墓園のアカマツの枯れ木が、倒木により来園者や墓石に被害を及ぼす恐れがある。また、街路灯脇のモミジの木も、倒木で停電を引き起こす恐れがある。このため危険木・支障木を伐採し、被害の防止と墓園の環境保全を図ることを目的とする。

申請団体：太田北部墓園墓地使用者組合

申請額：136,400円

6 東部墓園保全事業

事業目的：太田東部墓園のサワラの枯れ木が、倒木により来園者や墓石に被害を与える恐れがある。また、ケヤキの葉、枝、根が用水路の流れを妨げ支障を来している。このため、危険木・支障木を伐採し、被害の防止と墓園の環境保全を図ることを目的とする。

申請団体：太田東部墓園墓地使用者組合

申請額：163,900円

○会長

ありがとうございました。

ただ今、事務局から報告がありました。皆さんから質問等ありましたらお願いをしたいと思います。

特にございませんか。

(特になし)

○会長

ないようですので、質疑を終わりたいと思います。

なお、地域協議会では、市が決定した市民協働型、市民主導型、地域イベント応援型について、報告された内容によっては意見を附すことになっております。今回、市民協働型5件、市民主導型1件の報告がありましたが、申請団体に対して改善を求める点など何かご意見等ございますか。

(特になし)

○会長

それでは、ないようですので、これで次第5の(1)の報告を終わります。

次に、(2)の「地域拠点利活用活性化事業プレゼンテーション結果について」、事務局

から報告をお願いいたします。

○事務局

資料8になりますけれども、合わせて本日お配りしております資料9の方にも関連しているということで載せておりますので、ご覧いただきたいと思います。説明につきましては支所長をお願いします。

○支所長

それでは、簡単に説明させていただきたいと思います。カラーの資料をご覧ください。6、7ページにあるのは、前回皆さんに見ていただいたプレゼンの資料をちょっと要約したものでございますので、内容としてはそのとき説明したものとあまり変わりございません。結果的に我々は横沢公園を選んだということでございます。資料8はそのプレゼンの結果について老松市長、佐藤副市長、西山副市長から意見や指示があったことをまとめたものです。

市長からは、花と緑のブラッシュアップということだけでも、「市民に喜ばれる公園とするために今望まれている公園というのはどんな公園なのか、地域や専門家の意見を聞いて大規模改修の整備構想を立てること」と、割と大きく捉えていただいたなとは思っております。さっきも申し上げましたが、横沢公園は中仙と太田の二つの地域の中の拠点公園ということで、本庁の都市管理課ではお金を掛けてきちんとした方がいいと考えてもらっているようでございます。それから、「ソフト事業について関係団体から協力をもらう体制作りも重要である」というのも、やはり横沢公園のエリアを活かしていくためには必要なことなのかなと私も思っております。公営の施設でありますので、そこに民間の方が何か事業をやっていただくような仕掛けがどうしても必要なのかなと思っております。

それから我々の方では、奥羽太田ロードレースについては横沢公園からスタートして町内を走ってもらうことを提案したわけですが、市長からは奥羽山荘のところから山側を走る現在のコースの方で、今までどおりやってもらった方がいいという話をいただきました。山側の方については、来年度アウトドア・アクティビティをメインとした観光ビジョンを作りたいという市長の構想もあるということで、そっちの方で考えてもらえないかと言われました。

佐藤副市長からは、奥羽山荘、真木真昼県立自然公園などの山側のエリアと、横沢公園エリアにつきましてはそれぞれ集客ターゲットが違うだろうということで、それぞれに応じた整備の仕方が必要なのではないかなという意見をいただきました。もう一つは中里温泉の改築が検討されておりますので、そちらも含めて拠点整備を考えたらどうかというようなご意見でありました。

西山副市長からは、キャンプ場の活用を考えているとのことだが、本当に人が来るのかというお話がありました。プレゼンテーションは10月25日に行われましたが、11月に入ってから西山副市長が現地を見たいということで、都市管理課と建設水道事務所の田中所長と一緒に現地を見たそうでございます。そうしたら、ちょうどキャンプをしている方

がいて、副市長がその方に「どうしてここでキャンプをしているのか」など話を聞いたそうです。「この場所が手ごろで使いやすい」とか、「失くしてもらっては困ります」というようなご意見をいただいたそうです。副市長も、実際にそういう方が使っているという現場に出くわして、考え方をちょっと変えられたような気がいたします。ですので横沢公園のハードの整備についての認識も、大仙市内の公園の中でも一つレベルが上がったような気がいたします。

来年度以降の事業についても、何らかの新たなイベントなどを考えながら、花付きの悪くなったスイセンや菖蒲、景観的に良くない堤の葦などを何とかして、花と緑のまちのシンボルとなるように、新しく生まれ変わらせるための素地はできてきているといたしますか、本庁の方々との認識は共有してもらっているのかなと思っております。いずれこういった事業を進めていくにあたっては、我々公務員だけでは埒（らち）が明かないところもありますから、来年度以降は民間の方や協議会の皆様ともいろんな活用の仕方について検討できる場所を設けていきたいなと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上でございます。

○会長

はい、今報告がありました。皆さんから意見や、もうちょっと聞いてみたいなどということはありませんか。

すみませんが、中仙は拠点道を道の駅にすると言っていました、中仙と一体となつてやるというのは、それとは別にやるということですか。

○支所長

それとは別です。一体でやるのではなく、中仙はこの事業では道の駅のリニューアルをやり、大仙市を東部、西部、中央の三つのブロックに分けて、その中で基幹公園としてきちんと整備をする公園として横沢公園が選ばれたということです。

○会長

わかりました。もう一つ教えてください。市長から「関係団体から協力をもらうための体制づくりが重要である」との指摘がありました。支所長の方では、民間からの参画というのはどういったことを考えているのでしょうか。

○支所長

まだ具体的なものは出てきていませんが、例えば本庁の玄関ではキッチンカーで食べ物を売ってもらって、収益が上がるかどうかということを試してやっております。もしできるのであれば、我々としては子どもたちが楽しめるようなイベントというものも考えておりました、キッチンカーに来てもらえないかと考えております。ただ、我々公務員だけでは発想の及ばないところもあるので、やはり民間事業者の方であそこの場所を活用してやりたいという人がいないかなと思ひて今考えています。そうすれば太田の中で商工会とか

商業者の皆さんも少し元気がなくなっているように思いますので、使ってもらえるような場所にできればいいと思います。まだ具体的なことは何があるのかっていうのは何とも言えないところであります。以上です。

○会長

花でも建物でもそうなんですけど、始めるときは大変華々しくやるんだけど、手入れをしなくて葎が生えてきたとか、そういうことのないようにしなければいけないということの方が大切だと思います。お祭りのときにキッチンカーを呼ぶというのはそれでいいと思うんですけども、自然に生えているものはきちんと管理しなければいけないと思います。言った方がいいのかわかりませんが、役場の人たちが管理するというのは無理なことだと思います。ですから、やっぱり植えたらそれを良く咲かせていく方法を、職員が変わっても忘れてしまうことのないようにするにはどうするかというのも対策に入れて取り組んでいただければ私はありがたいと思います。私からは以上です。

他に皆さんから何かありますか。

○藤本重政委員（以下「藤本委員」と表記）

はい、中里温泉の改築の完成の目途について良く聞かれるんですけども、予定としてはどうなっていますか。

○支所長

今は基本的な構想を練っている段階ですけども、まず一つ決まったことは、奥の木造のふるさと館と休憩室の建物を大規模改修し、要望のあるサウナなどを新たに増築するということです。前の方の古い就業改善センターとかフロントがある建物や、奥の方にあるサウナとかは解体することになっています。時期として、新たなオープンは令和6年6月で、その時期については今のところ変わらないということで計画しています。来年度、実施設計というものが組まれて、令和5年度に改修工事と増築があつて、その間は今までのところで温泉は営業を続けながらやっていく形だそうです。令和6年6月に新しいものができたら今度は解体を進める。だいたいそういったスケジュールが議会でも報告されているところです。以上です。

○藤本委員

はい、わかりました。

もう一ついいですか。地域協議会で言うべきことではないですが、10月頃に角六線のバイパスの件で地域振興局に行きましたが、県の方ではバイパスしか考えていませんとのことでした。三本扇としても計画を進めてくださいとはお願いしましたが、どうしても中里、横沢が固く古い意見ばかり出しているように感じました。県の方では、バイパスなら前向きに検討するような意見もあつただけですけども、そっちで進めてもらった方がいいと思います。三本扇でも、ほ場整備区域にバイパスの線が予定に入っているから、それも利

用しながら。

従前地を広げていくというような無理な話もしていましたが、県の方ではバイパスだったら考えてくれるようなニュアンスでした。横沢、中里の事情もあると思いますが、やってくれると言うときにやってもらう方に進んだ方が良いのではないかと思います。

もう一つ豊川のバイパスの件でも案が出ていると。どんどんやってくれるものを進めて行った方が良いと思うんだけど、どう考えていますか。

○田中中仙・太田建設水道事務所長

中仙・太田建設水道事務所の田中です。ただ今、藤本委員のお話にありましたように、バイパスについて「主要地方道角館六郷線整備促進市民の会」ということで、県の振興局に行ってきました。コロナの影響で、この2年間交渉できなかったということで、まず顔を合わせまして、現況について聞いてまいりました。藤本委員からありましたように、県の回答では、「現道の拡幅については考えておりません。バイパスで実施します」ということでした。理由を県の方に聞いたところ、現道を拡幅する場合とバイパスを作る場合では事業費が2倍近く違うとのこと。全県においても、あくまでも土地が無い、例えば都市計画の中で作らなければならない場合は現道の改良という方法がありますが、今回のように費用対効果を考えた場合、バイパスの方がやはり現実味があるというようなことでした。

この件については、平成29年に一度地元の方にバイパス案について提示をされております。その結果について地元の方から返事をいただけない、ボールを投げたけれども回答がなかったので、そのまま話は進んでないということで終わっているということになります。市といたしましても、当時は現道拡幅ということで要望をしてまいりました。ただ、県としては、要望するのは良いんだけども拡幅しませんよと、そういうお話がありましたので、市としても難しい状況です。やっぱり県の方の立場もあるし、地域住民、市としての立場もあるので、今、市としてははっきりとした結論は出せていないという状況です。今後、地域の方々と協議は必要かなということで考えております。

この話もバイパス沿いの地域の方の意見と、バイパスから離れた地域の方の意見も違いますので、周辺の方の考えを交えて聞きながら、調査して意見を集約することも必要かと考えております。明確な形での回答はできませんが、角六線バイパスについては、市としてまず協議を進めていきたいと思っております。

○藤本委員

それに関連して、ほ場整備第三工区がちょうどその計画のところに入っているんですけども、県・国などの予算を使うものだから、工事が始まってしまえば8年以上は動かさないんですよ。ということは、10年近く経った後にまた計画を出すという考えでいいんですか。

○支所長

今、藤本委員から言われたように、ほ場整備が終わってから8年間手が掛けられないことは事実です。ただ道路について、拡幅なりバイパスでやるとなれば、そういう議論が出た段階から実際動くまで、結果的には8年近く掛かってしまうことになると思います。これは我々もわからないし、市で積極的に動いて進めるということも、地元の中で意見が分かれている状況なので、正直こうしたら正解だということと言えない、ちょっと難しい立場にあります。あくまでも地元の意見というものがまとまって合意形成ができたということが一番の条件だと思いますので、まず藤本委員から金谷議員を説得してもらうということも必要なかもしれません。我々も難しいなと思っています。

進めるとなれば、もはや我々の世代を過ぎてしまうのかなと思っています。もし今ここ2、3年の内に合意形成ができて、用地買収がある程度進んだとしても、橋は2本も架けないとならないし、結果的に8年は過ぎてしまうのかなと思っています。三本扇の県道の拡幅も鷹嘴商店のところまでできてしまったので、あれ以降どうなるのかということですから、なかなか難しいなっているのが正直なところです。

○会長

よろしいでしょうか。それでは他にございますか。

(特になし)

○会長

なければ次に、次第6の協議に入ります。(1)の『太田地域を語る市民の集い』開催結果に対する委員意見について」、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

資料9をご覧ください。太田地域を語る市民の集いの開催結果ということで、1枚にまとめております。開催日時が11月17日の午前と午後、18日の午後2回ということで、1回目が敬愛館、2回目が北部センター、3回目・4回目がおおたコミュニティプラザで、時間と場所を変えて開催したところですが、出席者等にありまして、1回目は14人、2回目が2人、3回目4人、4回目は誰も来てくれなかったというのが現実でございます。参加者への周知につきましては、太田地域の広報お知らせ版に載せた他に、自治組織連絡協議会の会長さんに通知しましたし、保育園・小学校・中学校の父兄にも開催の案内をしたので、約500件ぐらいには個別に周知した結果ですが、実際来ていただいたのは20人ということでございました。

会の流れですけれども、まず支所長の挨拶から始まりまして、職員を紹介した後に説明に入りました。この説明の内容につきましては、各家庭にも届いている「太田地域予算特集号」を使いまして、事業の進捗状況を説明しました。それから本日資料に付いておりますけれども、「令和3年度太田地域を語る市民の集い追加説明資料」で各課から補足の説明をさせていただいております。その他にカラーの資料があるんですけれども、これが支所

長がまとめてくれました資料でございます。今回はこのときの内容について支所長の方から説明をお願いしたいと思います。

○支所長

はい、それでは20人しか参加しなかったということで残念だったんですが、皆様にも簡単にこの資料についてご説明をさせていただきたいと思います。追加説明資料について、予算特集号にプラスして最近の話題としてお話ししたものでありますので、皆さんもだいたい見ればわかるようなことだと思います。

1ページの地域枠予算については、いつも言っているとおり地域枠予算を活用してくださいというものです。2～4ページ目は空き家の関係でございます。これは2回目の協議会で市長が来て空き家の制度について拡充されたという話がありましたけれども、何とか空き家について対応をお願いしたいというお話をしているところであります。今までは危険空き家だけでしたが、築40年以上の老朽空き家だとか迷惑空き家だとか、メニューも増えました。最近は問い合わせが非常に多く、来年度に回してお願いしているぐらいです。市の方でも積極的にやっていきたいと考えていますので、空き家でお困りのことがありましたらご相談ください。後はツキノワグマの出没についてですとか、公民館からは大仙市の教育計画ということで説明がありました。こちらの追加資料については後ほど皆さんから見ただければと思います。

次に、カラーの資料なんですけれども、自分の中で気になっていることや今後の大仙市だったり太田地域に関わってくる事業等についてまとめたものであります。

一つ目は太田地域の人口をまとめたもので、人口推計でどんどん人口が減っていくのが見えます。次は男女別の人口ピラミッドと言われるものであります。下の方にいくと若く、上の方が年寄りということですが、若い人が少ないというのはこれでもわかると思います。特徴的なのが20～24というところを見ていただくと、女性の方がその手前の15～19に比べると117から78にガクッと落ちています。男の方はそこまで落ち込みはないんですが、例えば大学とか専門学校に行くと、女の人はこっちに戻って来ないということだと思っております。男については仕事だとかいろんなしがらみがあって戻って来るなり残っている人が多いと思いますが、女性はやはり一旦出してしまうと、こっちでは仕事がなかったり、戻って来れないのかなと思います。

もう一つ太田地域の婚姻と離婚についても調べて見ました。去年はやっぱりコロナ禍のせいかと思いますが、今まで30件ぐらいは婚姻あったものが令和2年度は14件まで減っています。半分ぐらいになってしまって、今年になっても10月末で15件で、去年よりは増えていますが30件まではいかないのかなと、だいぶ人口のことが心配だということのをこれで訴えたところあります。

次のページでございますが、これまでもお話ししてきたことではあります。公共施設の統廃合、見直しのことであります。市の箱物と言われるものがだいたい600施設あるそうです。その内の約3分の1の施設がこの10年ほどで築30年を超えてくるそうです。築30年を超えると大規模改修するなり建て替える判断をしなければならない時期に差し

掛かります。ところが大仙市の場合、毎年毎年修繕だとか建て替えの費用を積み上げていきますと、このままでは毎年11億円ぐらいの赤字になるということであります。そのため3分の1ほどの施設を地元で譲渡するなり、廃止して解体していきなりしないと駄目だということを書いてあります。

次の5ページのところは、太田地域の集会施設に対する存続の意見ということで書いてございます。東部センターと、スポーツクラブの入っている生活改善センター、北部センターについては地元で譲渡するとか、もしくは生活改善センターは文化プラザとか支所と一緒にして、今の場所は廃止していかなくちやならないのかなということで、あと具体的な年度も書いております。そうすると上太田地区には敬愛館、下太田地区には文化プラザとおおたコミュニティプラザくらいしか残らないのかなと思っております。

あと6～7ページは先ほどお話しした横沢公園のプレゼンの話なので、これは省略したいと思えます。

8～9ページは、真木真昼県立自然公園を活用した観光ビジョンということで、委員の皆様からご協議いただきました夏場の活用だとか、あの真木真昼の溪谷の話ですとかそういったものをまとめてご説明しました。9ページにあるこの図面につきましては、農林建設課で主体となっておりますが、県の森づくり税を活用しまして、大台スキー場のちょっと朽ちているキャンプ場のところだとか、あとは仙北平野を見渡せる展望駐車場にベンチやトイレなどを整備できないかなということ、約5千万円ちょっとの事業で考えておりますが、こういった計画概要図を作って申請しているところです。キャンプ場の他に遊歩道を新たに付まして、今はトレイルランニングなど様々な新しいスポーツが出て来ておりますので、そういった方や、またキャンプの方も利用しやすいような整備をしたいと考えていますので、まもなく採択されるかと思えますけれども、来年度か再来年度でそういうものをやるということを進めてまいりたいと思っております。

最後の10～11ページについては、昨年小学校、認定こども園の保護者を対象に行った1回目の学校統合についてのアンケートの結果を報告しております。小学校の統合についてアンケートでお答えいただきましたところ、「すぐにでも統合した方がいい」という方が全体の44.7%、「いずれ統合は必要だがしばらくはこのままで良い(10年程度)」という回答が32.1%で、合わせて77%ぐらいの方が賛成だということです。どういった統合が良いですかという質問には、「太田地域の3つの小学校を1校に統合する」が89.1%で9割方という答えが出ています。ただこれだけではどうも本庁のトップの方ではすぐやった方がいいという判断ができなかったようで、もう1回アンケートをやるということです。金谷議員もこの件で、12月議会の一般質問でもっと積極的に統合について考えてくださいという話をしたのですが、このアンケート結果によってさらなる検討をしますという話をされております。最後のところに太田地域の0歳から15歳までの年齢別人口を載せました。今の中学校の子どもたちで各学年50人を切るぐらいの人数ですけれども、10年もすれば中学校も小規模な学校になってしまうので、そのときにどうするか。小学校だけの統合の話だと今のアンケートのとおりだと思います。もしかしたらその統合がある程度形になると、今度は中学校の統合の話も出てくるかもしれない。そのとき

どうしたらいいのかという投げかけをしたところであります。

最後に質疑応答に出してもらったものをまとめております。1番の方は「小学校の子どもが少なくなってびっくりしている」ということで、他の地域の例を参考にして学校統合を早急に進めてもらいたという声がやはりありました。これは結果的に今のアンケートをした中で考えられていることだかと思います。この件について皆さんはどう思うか、もしくはこういった質疑応答について、今後どうしていくのかと言われたときに、私もできるだけ上にお伝えするという話をしてありますが、伝える方法としてはただ市長に「こういうふうな意見が出ました」とお伝えしても、「はあ、そうですか」で終わってしまうので、できれば私としてはこの中で議論していただいて、地域協議会として要望をあげてやった方が、市長や副市長の目に届きやすいのかなと思っていますところあります。

4番については、太田町と旧千畑町とやり取りして作った観光看板をきちんと修繕してくださいという話です。5番は真木の武士平のロータリーの話でありますし、結構、真木真昼や大台スキー場だとかについて思いのある方が多かったせいか、真木真昼県立自然公園の活用については、もっと積極的に活用してくれば良かった、今からでも何とか早くきちんとしたものにしてもらいたいという意見が多かったと思います。

それから10番に文化プラザのエレベーターについて質問された方がいらっしゃいました。この後、公民館長からお話があると思いますけれども、文化プラザは今まで色々改修を行ってきましたが、来年内部を改修するというので、実はあそこの階段の近くにエレベーターを付けるという計画がございました。12月12日に改修方針を説明したわけですが、エレベーターを付けた方がいいというご意見ばかりではなくて、必要ないという方もやっぱりいらっしゃいました。文化プラザに付けるよりは、支所の玄関付近に付けた方がよいというご意見もありました。もちろんどちらにもあれば一番良いかと思えますけれども、なかなかそれは財政上難しいところがございますので、おそらく二者択一になってくるのかなと思います。この点も後で文化プラザの改修計画と一緒に、ご説明をさせていただきます。

最近気になるところと言えば16番で、イチゴ栽培をしているが燃料が高くなって大変だという要望が出ております。これについてはおそらく次の議会に何か政策が出てくるかなと思っています。それから23番の間口除雪についてお話がありました。田の尻集落などでも地域で除雪をしてもらう制度がありますけれど、間口除雪は基本的に高齢者が対象となっていますから、若くてもできない人がいるということで、対象外になった人の扱いはどうしたらいいのか、そういった支援の話をされた方もいらっしゃいました。

色々なご意見がありまして、回答の方は私や課長たちが話したのですが、決してこれがすべて正解というわけではないので、皆さんからご意見があればお願いしたいと思えますし、さっきも話した通り地域協議会から地域の要望を形として書面で出せばいいのかなと思っていますので、今日いきなり書面で出すということで決めていただくわけはありませんが、こういった内容を議論して、しかるべき時、おそらく年度内にもう1回協議会があるかと思えますので、その際にもう一つ議論してもらって出すのがいいのかなと思っています。長々となりました。以上でございます。

○会長

はい、ただ今説明がありました。皆さんからもうちょっと聞きたいこと、質問などございますか。

いろんな角度から様々な質問や意見が出てました。これをどうするかまとめるのはすごく苦勞すると思います。どれをとっても簡単にできそうにないものですから、話をさせていただいたことについては、きちんとした答えを示さなければならないと思うんですけど、この中で今すぐできるもの、それから2～3年掛かるものとか、10年も掛かるとか、そういう仕分けの仕方もあるのかなと感じます。ただ、聞きっ放しは良くないので、やっぱりいつ頃までどのようにしたいとか、いつまでに要望を出したいというのを示してくれば、質問した方も納得するのかなと思いました。でも、それも本庁の兼ね合いや予算のこともあって難しいでしょうし、精神論的なものばかりでは駄目だと思うんですけど、そういうのもあればなのというのが私の意見でした。

他に皆さんの方からございますか。

(特になし)

○会長

それでは、ないようですので、次に進んでよろしいでしょうか。「地域の課題について」ということで、協議の(1)との関連もあります。皆さんの住んでいる地域あるいは太田地域全体に関わることで解決したい問題等がありましたら、お話ししていただきたいと思います。もし思いつかないようでしたら、皆さんが持っている情報提供等でも結構でございますのでお願いします。何かございますか。

うちの方の集落のことで恐縮なんですけど、小正月行事については基本的に例年のように実施すると決まりました。ただし、日にちは2月12日になります。ただ、今の正月の人の流れによってコロナの感染が爆発的に増える恐れがありますから、もしそうなった場合には、参加者の交流会や餅つきなどについては、1月末までに状況を勘案して中止するかどうか判断します。ただし、風船上げや天筆焼き、それから雪中田植えは例年どおり行います。もし太田の火まつりが中止になった場合、風船は5個作りますから間違いなくその場で上げてしまいます。例年どおり、うちは風船に火は使いませんので、消防署へは薪を焚くだけの届け出をすればそれで終わりですので、それでやります。参加者も30人かそこらしか来ませんので、密になれて言われてもなりようがないので、うちの方はやらせてもらうことにしました。これ休むと忘れてしまってできなくなるんですよ。形だけでも何とか続けたいということで、やることにしました。

それから要望があって集落内に交通安全看板を立てることになり、発注したところ届いたのが11月の末頃になりました。今設置しても除雪車に壊されるということで、来春設置することにして保管しています。ということで報告を終わります。以上です。

皆さんから何かございますか。

(特になし)

○会長

ないようですので、協議の(2)を終わります。

次に、次第7の「その他」に入ります。皆さんから何かございませんか。

○草薙太田公民館長（以下「公民館長」と表記）

太田公民館の草薙です。私の方からは、本日お渡しした令和4年度の太田文化プラザの内部改修について説明させていただきます。1番の「概要」ですが、先ほど支所長からも公共施設の統廃合の話がございましたが、まずその先駆けとして、平成28年に旧公民館が入っていた太田生活改善センターを一部減築しまして、その部分の機能を太田文化プラザに統合するというので、文化プラザを生涯学習施設、集会所、避難所等として改修してきております。

2番の「経過」ですが、平成28年に減築しまして、やっと工事に入ったのは令和元年、年次計画で令和3年は空調の工事をしてございまして、いよいよ令和4年は内部改修工事に入る予定でございまして。

3番の「内部改修工事の概要」なんですけれども、「(1)当初の計画」は平成29年度に文化プラザ改修工事の実設計を行った際のものでございます。この計画の目玉は、玄関から入ってすぐミニ展示室がございまして、そちらにエレベーターを設置するという計画でございました。それから正面玄関のスロープについては、多目的ホール付近の廊下に繋がるようなスロープは既存であるんですが、正面玄関の方にもあった方がいいのではということで計画されておりました。それから、空調設備等を効率良くするために風除室が必要かなということで、今ある自動ドアのところに風除室を設置する予定となっております。電気設備については、今回の工事では玄関ホールと多目的ホールの照明のLED化は盛り込んでございました。それから機械の方ですが、女子トイレが不足しているので、1階の今は宿直室があるところを取り壊しまして、女子トイレと倉庫にするという計画です。あと2階のトイレは男女兼用のトイレなので、その奥に物置がありますのでそちらを女子トイレにするという計画でございまして。あと合併前に互助会食堂として使っていた旧食堂の方を、今もいろんな創作活動で使ったりはしておりますが、その奥に厨房の機械などがそのまま残っていますので、撤去して防災調理もできるスペースを作るという改修内容となっておりました。

次に「(2)現在の計画(案)」でございまして、資料1の方をご覧いただきたいと思っております。この中で追加工事の範囲になっているのが、一番広い多目的ホールです。当初ここは照明のLED化だけだったんですけれども、見直しの結果、壁のクロスや天井も雨漏りがあったりシミになっている部分もございましたので、改修することになりました。多目的ホールの廊下も当初の計画では手を付けない予定だったんですけれども、窓もありましてフロアもかなり色落ちしておりますので、カーペットを一新して壁も張り替える予定にな

っています。あと事務室もやはり壁や床が全体的に汚れておりますので、改修予定に入れたいなと思っております。玄関ホールのエレベーターは今の段階では設置を見送る計画となっております。

それから2階なんですけれども、和室に通じるところに石庭がありますので、そこは物置に改修しようという計画です。それから廊下も経年劣化で壁が剥がれてきており、共同利用室も天井とかフロアも汚れているので、そちらも全面的に改修するという内容になってございます。当初の計画では、多目的ホールと玄関ホールだけの照明のLED化だったんですが、施設全体のLED化をしたいなと思っております。

4番の「当初計画からの変更の理由」ですが、先ほど支所長の方からもお話ありましたが、今月の12日に利用して下さっている方々や自治組織の代表、社会教育関係の委員など60人ほどに通知を差し上げまして、15名の参加をいただきました。説明会では、「エレベーターの設置の必要性は認めるが、支所に設置した方が良いのではないか」という意見だったり、「2階の改修をしないのにエレベーターの設置は必要ない」とか、「高齢化が進んでいるので必要だと思うが、今必要なのか」ということ、「エレベーターよりももっと内部改修に力を入れてもらいたい」という意見がありました。それから終了後アンケートを行いまして、「エレベーター設置よりも2階の部屋の工夫が必要だ」という意見や、「エレベーターは必要だが、だったら2階の和室の改修が必要だ」という意見がございました。

そういったいろんなご意見がありましたので、今月の17日に副市長協議を行いまして、結果として当初の計画になかった多目的ホールの中と廊下、2階の廊下や共同利用室等の床・壁・天井等の全面改修、そして一部であったLED化を全体的に追加して行うという結果になってございます。それでエレベーターにつきましては、文化プラザと支所の2階がつながっておりますので、必要性や設置場所などについても今後再検討していきたいなと思っております。私の方からは以上です。

○会長

はい、ただ今説明をいただきました。もうちょっと聞いてみたいことなどありますか。

○藤本委員

今、草薨館長から説明がありましたが、多目的ホールで会議などをやる時、冬であれば暖房をかけてますが、前の方の席を適温にすると、奥の方の最上段から10段くらいの席では汗をかくほど暑くなります。それを攪拌する機械などを考えなければいけないと思います。

○公民館長

今年度、空調のガスヒートポンプを全面的に改修したので、暖房も冷房も温度設定ができるようになったので、今までよりは良くなるかなと思います。

○藤本委員

わかりました。

○会長

よろしいでしょうか。他に皆さんからありますか。
このエレベーターは付けることになったんですか。

○支所長

エレベーターについては、さっきのアンケートの結果だと、必要だという人と必要ないという人がいるので、もう少し地域市民の合意形成ができてから、支所に必要なのか文化プラザに付けるのか、そういったものも含めて検討してくださいと言われております。まだ付ける付けないも正直はっきりしていないという状況です。

○会長

うちの方では耕地整理の説明会の時に、2階の和室で図面広げたりして説明を受けたんですよ。ここにいる人たちは全員大丈夫なんだけど、会議には年取った人も来ていて、あの階段をしばらく掛かって上がってくるわけです。どうして何も仕掛けがないのかと思いました。だから、どこに必要かっていうのは答えが出ていると思うんですけど、将来的に支所と合体するということになれば、支所の方に付ければ歩いて行けますよね。間違いなく今若い人も年取ってしまって上がり下がりが大変になるので、エレベーターは是非設置すべきだと思います。

○支所長

確かに高齢者が多くなってから必要だという話は当然あるんだけど、会議室ならおたコミュニティプラザや元の公民館の部屋など、まだ色々会場があるので、会議を主催する側もそういうのをきちんと考えてくれれば良かったなと思います。

ただ、今後の高齢化社会やバリアフリーなど様々なことを考えると、エレベーターの設置は当然必要にはなってくるけれども、今の計画ではエレベーターを作るとミニ展示室がなくなってしまうし、正直最初にこの計画を出したときに、皆さんから「もっとこうした方がいい」とか、ざっくばらんに意見を出してもらえば良かったと思います。自分の家をリフォームするとしたら、「こうしたらもっと良くなる」とか夢を持って作るはずですから。そういう話し合いがちょっと足りなかったと思うんですけど、まずは仕切り直しということで、今一緒に手を掛けておいた方がいいんじゃないかということで、当初の計画になかったものを追加しました。エレベーターの設置についてはもう少し皆さんの議論をきちんと集約して、どこに付けるのかも決めた方がいいということでもちょっと先延ばしにして、改修を進めさせてもらうことにしたところです。予算がいくらでもあれば何でもできるんですが、今まででも1億8千万円くらい掛けてきたので、これにさらにやるとしても今の計画でだいたい7千万円くらい、エレベーターを付けるのであれば1億円近くのお金にな

ってしまうので、そこら辺はちょっとご理解いただきたいと思っております。以上でございます。

○会長

支所長のおっしゃることも十分理解しました。だけど、お話しすることが噛み合わないんですよね、私にすれば。先ほどから将来を見据えた公共施設の統廃合についても説明がありました。確かに今は会場となる建物が色々あるけれども、何年か後になるといろんな建物がなくなるわけですよ。そうすると、文化プラザにエレベーターを付けろと言っているわけではないんだけど、支所の方に付けてしまえばそっちの方がなくなってもエレベーターはなくならないですよ。だから、今やらなきゃやれないと思うんですよ。ただ、この手の話をするときには、予算の話をしてしまうと意見は出てきません。「こうやらせてもらいます」って言うんだったら、最初から意見を聞く必要もないですから。そういうわけじゃなくて、地域全体のことを考えたら、人も金も少なくなって管理ができないので建物をなくしますということもあるし、老朽化も進むでしょうけど、そうなっても支所は残ると思うので、そこにエレベーターを作ってしまうと、将来的にも渡り廊下で行き来できるようになるという意見です。最初から予算の話を出されると意見も出なくなりますので、何とかその部分は抜きにして話をしてもらいたいです。

○支所長

申し訳ないです。我々事務方は、いつも予算、予算という言葉しか出てこなくて。エレベーターについては予算が決まっていますとできませんということではなくて、今のような意見を求めたかったことでもあります。だから支所に付けるのか、文化プラザに付けるのかというのは、まだこれから来年以降議論します。我々が言われるのは、地域の合意形成がきちんとできているのかということで、今回説明会をやったところ意見がわかれているというのはさっきも言ったとおりであります。そういうことだから、来年度については先に建物全体の改修をさせていただきたい。さらに来年度から、皆さんといろいろな議論をした上でどっちに付けるか、どういった形がいいのか、そこは検討していきたいなと思っております。先ほどは1億円掛かると言ったんですが、今付けてしまえば予算的には1億円だけでできると思うんです。延ばして別にやるとまた多く掛かるので、本当は一気にできるのが一番いいんですよ。申し訳ないです、世知辛くて。

○会長

例えばの話なんですけれど、今付けなかったとしても付ける方法はあると思うんですよ。今は、1階の部屋で会議でも何でもやれる場所があるからそこでやればいいという発想ですよ。将来その建物がなくなったとしたら、そういうところでやれなくなってくるわけです。だとすれば、その代替として支所にエレベーターを付けて渡り廊下を歩いて行ってもらおうということで、そのときに付けるという手もないことはないですよ。いろんなアイデアの中で構築していけば必ずそういう案も出てくると思います。今、建物改修をや

ってしまって改めて議論してから付けるという、その発想も悪くはないんだけど、やっぱり今付けてしまえばまだ予算も少なくできるので良いと思います。まず「付けてくれ」って言わない限り絶対付かないので。まず要望してみてください。「うーん」とうなられても、何とかして付けてもらった方が私は良いと思います。支所の方にね。というのが私の意見です。

ところで皆様、他にありませんか。

○倉田吹紀子委員

今の話を聞いていて、実は私も家作るときに、みんなニコニコして将来を見て、そういうふうに進むもんだと思ったんだけど、結局けんか腰になってなかなかまとまらなかったなということを思い出しました。ちょっと今思ったことは、私たちが文化プラザを利用するのは会合のときや、展示を見に行くときなどですが、やっぱり気になるのは自分たちが使っている部分です。今のエレベーターに関してもそうですけれども、そのエレベーターってというのが箱のエレベーターなのか、イスに座って上に行くものかちょっとわからないんですけど、太田ではあまり大きな災害はなくて、本当に困っている人たちには申し訳ないんですけど、でも何かあったときに、こういうところに寝泊まりしなければならなくなったときに、やっぱり必要な備品などを倉庫に置いてもらう必要があります。それに、階段を上るのが難しい高齢者を受け入れることを考えたときに、それを介助する若い人たちがどんどん少なくなるとすれば、機械に頼る部分が必要になってくると思うので、防災の観点が全く入っていないというのが気になります。今検討中だとすれば、前向きに考えてほしいと思うので、やっぱり設置する場所については意見が色々あると思うんですけど、未来のことも考えてもらえればありがたいと思います。

それから、ごめんなさい。私さっき言おうかとドキドキしながら思ってたんですけどいいですか。さっき「地域を語る市民の集い」で学校の統合の話が出ていましたが、保育園・幼稚園の統合の件は、何年も掛けて皆さんからご意見をもらったりしてきましたけれども、国の動向で法人化されることになって、あっという間に統合されたんです。何回もアンケートを取ったり、話し合いをしてきたのに、やるとなれば本当にすぐでした。やっぱり学校のご父兄の考えと全く同じで、今利用されている人は、「良くなるんだったら早く統合してほしい」という考えだったんですね。やっぱり子どもの声が聞こえなくなると、その地域の活気がなくなるということもあったり、統合したらしたで別の問題は出てくると思います。でも本当に大きな決断が必要になったときは、皆の意見を聞くのも大切ですけど、今住んでいる人だけじゃなくて将来の子どもたちのことを、またこういう会を設けて話し合いするのかなと考えたときに、やっぱりそういう時間は若い人には残さないで、ある程度今の人たちで方向性を決めていただければいいと思います。その時間や掛かる経費のことを考えても、今人数の多いところで考えていければなと思います。やっぱり生の声というのはとても参考にはなりますけれども、どこかで引っ張っていくところがないとなかなか決まらないのかなということが毎回思うところです。

さっきの文化プラザの話に戻りますけれども、やっぱり学校や支所なり文化プラザなり

は町の中核になるわけですから、そこは赤ちゃんからお年寄りまで利用することを考えて、お年寄りも歩けなくてもこういうところに行きたいという人がいるとすれば、どちらにウエイトを置くかというのは、おのずと答えが出てくるような気がします。そこら辺は私たちの意見もそうなんだけれども、ちょっと専門家なりの意見も取り入れながら、太田には施設がいっぱいあって、これからどれを活用してどれを廃止するのかを考えながら、使われなくても経費は掛かると思うので、未来のことも皆さんで考えていければいいなと思います。

○会長

はい、他にご意見ありますか。

(特になし)

○会長

今ご意見が出されましたので、支所の方で、出された意見も何処かに挟んでいただきながら、機会があったらいろんなところにアプローチしていただいて、より良いものができるように何とかよろしくをお願いします。

○支所長

はい、ありがとうございます。文化プラザの内部改修の件につきましては、エレベーターが最初言ったとおり肝だということではありますが、ただ今ご意見をいただいたように、高齢者が増えるということや、防災の観点だとか、今はなかなか想像できないような将来のことを考えながら、計画を立てたり、もしくはその計画をきちんと示して引っ張っていくのも必要だなと思います。大変貴重なご意見、ありがとうございます。

いずれエレベーターについてはやらないということではなくて、どこに付けるかとかその使い方も考える必要があります。今の設計では小さくて3人しか乗れない、または車椅子の人と介助する人1人しか乗れないというものが想定されているし、付けたら使いやすくなると言えないのが正直なところだったので、それも我々の悩みでありました。もし支所に付けるとしたら、支所には元々エレベーターを付ける計画があって、県の方から待てがかかったという経緯があるそうなので、場所はちゃんとあるんですよ。そこだったら5、6人乗れるようなものが付けられるという。ですので、今度は皆さんに図面なども見せながら検討できる場を来年度は設けたいなと思っております。以上です。

○会長

付ける、付けないはうんと議論するべきですし、どっちに決まっても運営していかなければいけないと思いますが、いずれエレベーターについてはこれから先を見据えれば、今座っている皆さんも間違いなく年取りますから、一番先にエレベーターに乗るかもしれませんよ。階段上れなくなりますから。どこに付けるかは、将来なくなるのではなく、

残す場所に。そうすれば他の建物はなくなってもいいのかなというのが落ち着くところだ
と思うんだけど、今はそれどころじゃないというのであれば、将来付けることを計画して
おこななければまずいと思いますから、そこは考えるべきだと思います。

他にありませんか。

(特になし)

○会長

なければ、終わってもよろしいでしょうか。では、事務局の方から。

○事務局

事務局からの連絡です。今年度も残すところ3か月程となつてまいりました。予定では
もう2回地域協議会を開催することになっております。2月の月上旬に1回、それから3月
の下旬に1回と予定しておりますけれども、もしかしたら案件によっては3月にまとめさ
せていただくことも検討したいと思います。開催につきましては、事前に皆様に通知差し
上げますので、どうかよろしくお願ひします。

それから中仙・仙北・太田、3地域が一緒になってやっております東部地区地域協議会
委員合同研修会なんですけれども、今年度中仙が当番でございますが、この間連絡がござ
いまして、3月11日の金曜日、午後から大曲の「はなび・アム」の見学を実施したいとい
う連絡がありました。懇親会付きで、中仙の「ひらくま」で開催するというものでした。こ
れにつきましても正式なものが届きましたら通知差し上げますので、お忙しいとは思いま
すけれどもご参加いただければと思います。以上でございます。

○会長

他にありませんか。

なければ、以上をもちまして会議を終了したいと思います。本日は長時間にわたり大変
ありがとうございました。

(午後0時1分 閉会)

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定により、ここに署名する。

会議録署名委員

藤本 重政

伊藤 和子
